

京都市では、施設の運営状況を分かりやすくお伝えする取組を行っています。

京都市勧業館（みやこめッセ）の運営について

当館は、京都市民の生活文化の向上と伝統産業をはじめとする京都の産業の振興に寄与することを目的に平成8年にオープンしました。現在では、年間約100万人が来場する施設です。

施設の主な取組（概要）

【展示場・会議室などの貸出】

大規模な展示場を備えた京都府下最大級のイベント会場であり、主催者のニーズに応じた、企画運営のサポート等にも取り組んでいます。

【京都伝統産業ミュージアムの運営】

京都が誇る伝統産業の振興拠点として、74品目の常設展示、工芸品の販売、職人実演など、広く伝統産業の活性化につながる取組を実施しています。



施設の利用状況（令和5年度）

- 展示場の稼働率は46.03%となっています。
- 京都伝統産業ミュージアムは81,534人*の皆様にご来館いただきました。
※ 令和5年9月から観覧料を設定しており、観覧料設定前の来館者と設定後（9月1日以降）の有料エリア来館者を合わせた数。

京都市勧業館の収入と支出

<支出>

利用1件当たりの運営経費 2,082千円（A）

運営費 その他 1,128千円	社員 人件費 544千円	京都市への 納入金 410千円 (維持管理費 152千円を含む)
-----------------------	--------------------	--

総額 7.2 億円

<収入>

利用1件当たりの収入 2,082千円（B）

施設利用料金 1,695千円 (81%)	その他の 収入 387千円 (19%)
----------------------------	------------------------------

総額 7.2 億円

〔 いずれも概数
千円単位で四捨五入 〕